

令和 7 年度気象庁組織・定員要求概要

近年の気象庁行政を巡る諸課題に適切に対応するため、以下の組織の見直し、増員の要求を行う。

1. 組織 （組織の名称は全て仮称）

【先端 AI 技術を活用した気象の予測・情報の高度化のための体制強化】

○本庁総務部企画課

「AI 戦略企画官」

【大規模噴火時の広域降灰対策に資する新たな降灰予報のための体制強化】

○本庁地震火山部火山監視課

「火山灰情報企画調整官」

2. 定員 増員要求数 90人

【地域防災支援体制の強化】 29人

○迅速な JETT 派遣と新たな地域防災支援に向けた更なる体制強化

【観測予報業務体制の強化】 49人

○関係機関と連携した新たな防災気象情報を提供するための体制強化

○気候変動の適応策の策定及び実践に資する新たな気候・海洋情報の技術開発体制の強化

○能登半島地震を踏まえた救助・復旧を支援する気象・海象情報に係る技術開発体制の強化

○先端 AI 技術を活用した気象の予測・情報の高度化のための体制強化

○気象データの国際交換機能の開発体制の強化

【地震火山業務体制の強化】 12人

○大規模噴火時の広域降灰対策に資する新たな降灰予報のための体制強化